

第9回農作物病虫害防除フォーラム開催要領

1 開催趣旨

昨今の残留農薬問題、無登録農薬の使用問題等により、病虫害防除に使用される農薬に対する消費者の関心が高まり、農薬が必要な理由や使用農薬の種類や散布回数が産地毎に異なる理由等、農薬の使用に関する疑問が提起される場面が多くなっている。

これまでの病虫害防除においては、病虫害の発生状況に応じた適切な防除を実施すべく、病虫害発生予察、防除技術等の情報を生産者及び防除関係者に提供し防除指導を行ってきたところであるが、今日の病虫害防除においては、更に、消費者ニーズにも配慮した防除指導が重要となっており、農薬使用に関する産地での取組み等について検討が必要となってきている。

このような状況に鑑み、生産者、流通業者、消費者のそれぞれが病虫害防除について、その実態を相互に理解し協力できる体制作りをテーマとし、今後の病虫害防除のあり方等に関して検討することとする。

2 開催日時

平成15年6月4日（水） 14：00～17：00

3 開催場所

農林水産省講堂（本館7階）

4 参集範囲

都道府県、地方農政局、独立行政法人、中央民間団体、農薬企業及び農業者団体

5 講演議題

(1) 環境保全型農業と農薬活用方法

独立行政法人農業技術研究機構中央農業総合研究センター耕地環境部

畑雑草研究室長 與語 靖洋 氏

(2) 市場流通の現状と課題

東京青果株式会社営業管理部長 川口 勤 氏

(3) 新しい病虫害管理の概念:EBC(Evidence Based Control) による薬剤散布回数を低減した防除体系の構築

佐賀県果樹試験場病虫害研究室長 田代 暢哉 氏

(4) 総合討論